

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」併催イベント実施業務 付属資料

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」大会概要

- | | |
|---------------------|---|
| 1 名称 | 防災推進国民大会2026 in 鳥取 |
| 2 主催 | 防災推進国民大会2026実行委員会 (内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議) |
| 3 協力 | 鳥取県 |
| 4 テーマ | 共に考え・備え・守る ～「支え愛」で守る命と暮らし～ |
| 5 会期 | 令和8年10月17日(土)18日(日) |
| 6 想定来場者数 | 延べ約10万人 ※併催イベント来場者含む |
| 7 開催場所 | 鳥取県倉吉市 エースパック未来中心、鳥取県立美術館、大御堂廃寺跡 倉吉市交流プラザ 等 |
| 8 イメージ キャラクター |  <p>「BOSAI」の「B」とハートからデザインされ、人と人との つながりで「防災」を作り上げ、安心安全な日常を願う というコンセプトで考案されました。 (全体を通じたキャラクター)</p> <p>Bちゃん</p> |
| 9 鳥取県防災応援 キャラクター |  <p>青谷弥生フレンズ</p> |

- 「防災推進国民大会」(通称「ぼうさいこくたい」)は、国民の防災意識向上のため、内閣府等が平成28年度から毎年開催しており、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベント。
- ぼうさいこくたい2025in新潟にて、次回開催を鳥取県倉吉市で行うことが発表された。

〔開催の経緯〕

- ・平成27(2015)年3月、「第3回国連防災世界会議」で「仙台防災枠組 2015-2030」が採択
- ・そこでは、自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされ、各界各層の有識者から成る防災推進国民会議が発足
- ・この発足を機に、内閣府、防災推進協議会とともに、国民の更なる防災意識向上を図るべく、平成28(2016)年に第1回を東京都で開催(これまで10回開催)



オープニングセッション



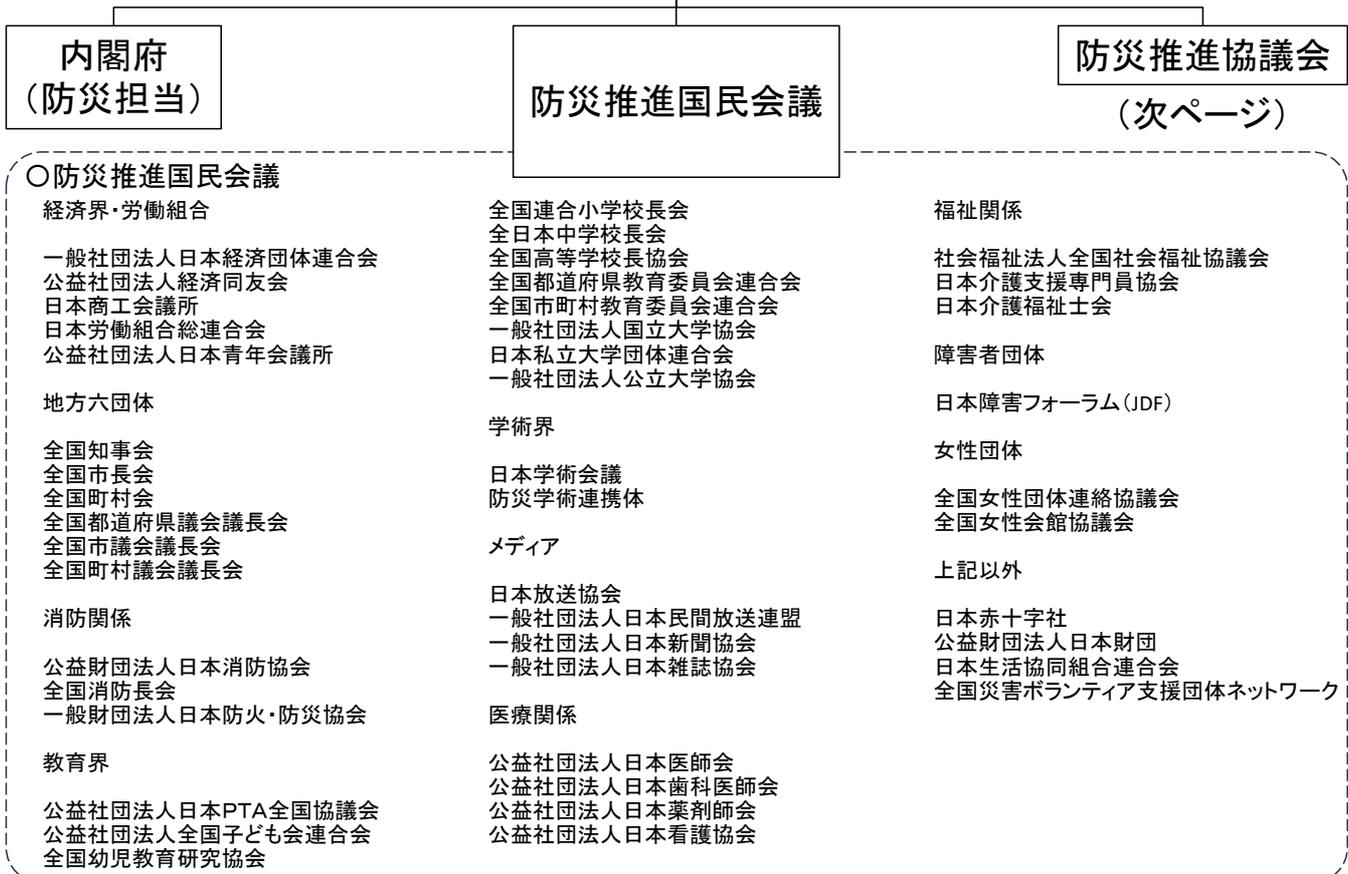
各地域のNPO等の交流セッション



パネル展示

「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」主催団体

防災推進国民大会2026実行委員会



○防災推進協議会

防災推進協議会は、政府、地方公共団体と一体となって防災知識の普及、防災意識の高揚を図るとともに、災害被害を軽減する国民運動を推進することを目的として、この趣旨に賛同する民間団体等により設立された協議会。

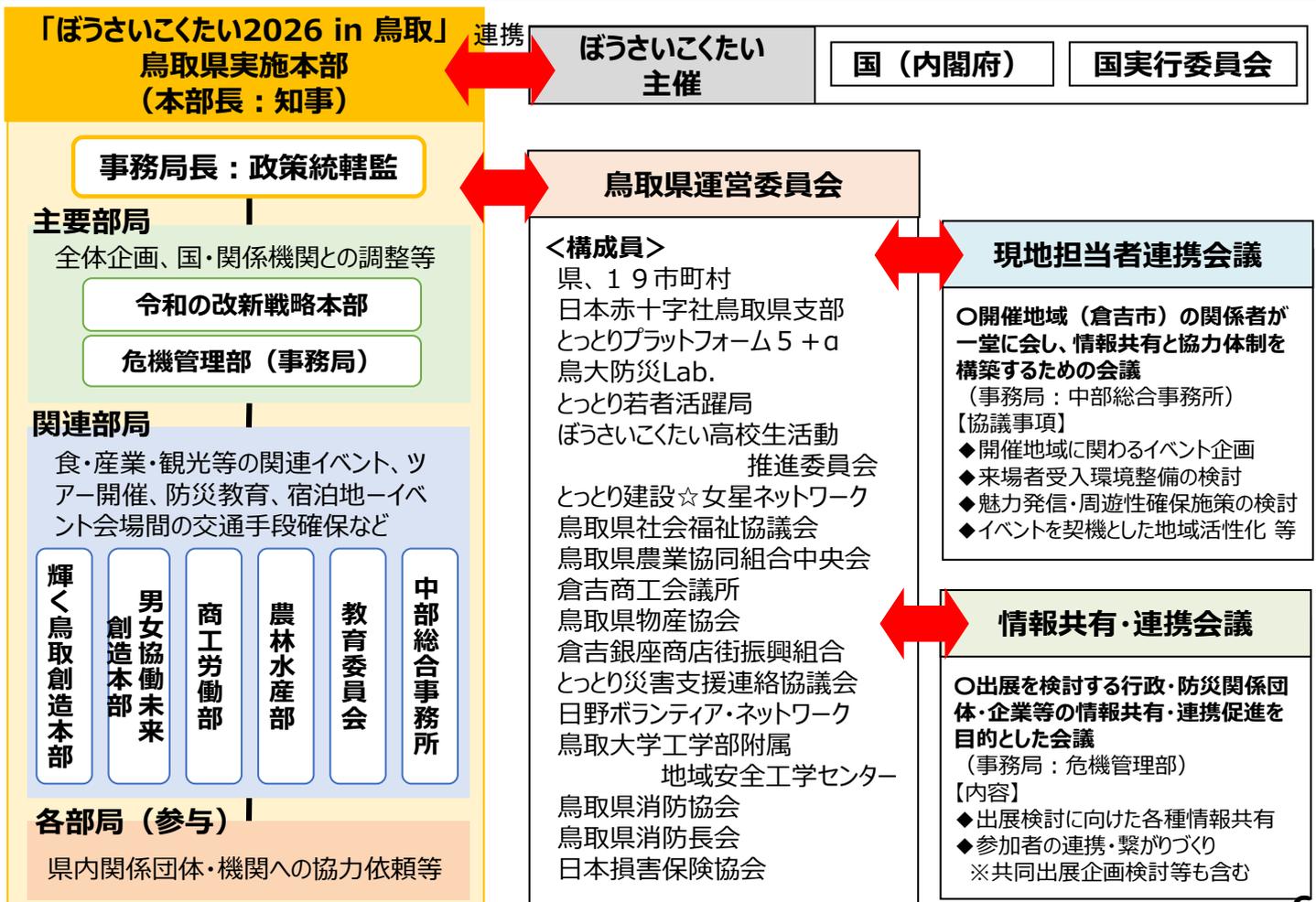
- ・ 設立：昭和57年
- ・ 会長：清家 篤（日本赤十字社社長）
- ・ 活動：内閣府との共催により「防災フェア」、「防災ポスターコンクール」等の各種事業を展開。

日本赤十字社
 一般社団法人 日本損害保険協会
 電気事業連合会
 一般社団法人 日本鉄鋼連盟
 石油連盟
 一般社団法人 日本ガス協会
 一般社団法人 不動産協会
 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
 公益社団法人 全国防災協会
 一般財団法人 日本防火・防災協会
 一般社団法人 生命保険協会
 一般社団法人 日本民営鉄道協会
 一般社団法人 日本建設業連合会
 一般社団法人 全国建設業協会
 一般社団法人 全国銀行協会
 一般社団法人 全国地方銀行協会
 日本百貨店協会
 一般社団法人 日本電機工業会
 一般社団法人 日本自動車工業会
 石油化学工業協会
 一般財団法人 都市防災研究所
 一般社団法人 日本道路建設業協会
 公益社団法人 日本水道協会
 一般社団法人 全国消防機器協会

公益社団法人 全日本トラック協会
 一般社団法人 日本ビルディング協会連合会
 一般社団法人 第二地方銀行協会
 一般社団法人 信託協会
 公益社団法人 日本河川協会
 公益財団法人 河川財団
 公益社団法人 全国市街地再開発協会
 一般財団法人 国土計画協会
 一般社団法人 日本電設工業協会
 一般財団法人 ベターリビング
 一般社団法人 日本公園緑地協会
 一般財団法人 日本ダム協会
 一般社団法人 土地改良建設協会
 日本証券業協会
 一般社団法人 電気通信事業者協会
 一般社団法人 農業土木事業協会
 全国共済農業協同組合連合会
 一般財団法人 日本気象協会
 一般社団法人 日本フードサービス協会
 一般社団法人 日本建設機械施工協会
 一般社団法人 日本ホテル協会
 一般社団法人 太陽光発電協会
 一般社団法人 日本貿易会
 日本製薬団体連合会
 一般社団法人 セメント協会

一般社団法人 日本旅行業協会
 日本化学繊維協会
 一般財団法人 簡易保険加入者協会
 一般社団法人 日本治山治水協会
 一般社団法人 日本林業土木連合協会
 公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会
 板硝子協会
 一般社団法人 日本即席食品工業協会
 一般社団法人 電子情報技術産業協会
 一般社団法人 日本照明工業会
 公益社団法人 全国公民館連合会
 日本生活協同組合連合会
 全国地域婦人団体連絡協議会
 一般社団法人 電池工業会
 特定非営利活動法人 事業継続推進機構
 特定非営利活動法人 ITS Japan
 全国労働者共済生活協同組合連合会
 一般社団法人 防災安全協会
 一般社団法人 助けあいジャパン
 特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
 地区防災計画学会

全体体制図



○鳥取県中部地震から10年の節目

平成28年10月21日に鳥取県の中部を震源とした最大震度 6 弱を観測した「鳥取県中部地震」。10年の節目に被災地の一つである倉吉市をメイン会場に、防災を通じたつながり合い、一人ひとりが命と暮らしを守ることの大切さを強く発信する。

○県内外に防災のノウハウを共有

本県には、中部地震を契機とした「災害ケースマネジメント」や「支え愛マップ」などの特徴的な活動の他、県内関係団体等による特色ある多様な取組がある。それらを、全国に向けて発信するとともに、大会での交流を通じて更なる取組強化につなげていく。

○防災への若者・女性の参画促進

本県では、「鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG）」等の若者が中心となった防災活動や、女性による活動ネットワーク構築など、地域防災の新たな核となる担い手が着実に育ちつつある。本県独自の展開として、若者・女性の視点を取り入れ、鳥取県らしい防災活動推進の契機としていく。

○大会を契機とした地域防災力の向上

本大会を一過性のイベントとせず、開催を契機として、県民意識の向上、地域の防災活動活性化など、持続可能な形での地域防災力の底上げを図っていく。

○大会開催を通じた本県の魅力発信

県内外からの来場に対し、倉吉市全体を使い、食・産業イベントの併催や、地域イベントと連携し、鳥取県の魅力を広く発信していく。

7

開催趣旨（令和8年1月30日内閣府発表）

○ 日本は、地震、津波、大雨、台風、火山噴火、豪雪等様々な自然災害の影響を受ける環境にあり、特に、近年の自然災害は激甚化・頻発化しており、毎年、各地で被害が相次いでいます。また、南海トラフ地震や首都直下地震等大規模災害の発生が懸念されています。

○ 一方で、我が国はこれまで、災害が発生する都度、その経験と教訓を踏まえて、被災地対応に関する課題等を洗い出し、災害対応を進化させてきました。

○ 防災は行政だけで目標を達成できるものではありません。国、地方自治体に加えて、保健・医療・福祉関係者、企業、業界団体、大学・研究機関、NPO／NGO、ボランティア等の地域関係者、そして国民一人ひとりが、災害大国に暮らしていることを自覚した上で、災害を自分事化するとともに、共に考え、共に備え、共に守り、総力を結集し、共に未来を築いていくことが重要です。

○ 鳥取県は、鳥取県西部地震（平成12年）や鳥取県中部地震（平成28年）での対応を踏まえ、一人ひとりの命と暮らしを大切に守りたいという思いのもと、地域と連携した「支え愛マップづくり」や「災害ケースマネジメント」等の取組を推進してきました。また、本年1月6日の島根県東部を震源とする地震では、鳥取県西部を含む幅広い地域で最大震度5強を観測しました。鳥取県は、これまでの経験を踏まえ、発災後速やかに自治体、防災関係者及び地域等が緊密に連携し、迅速な復旧に対応しました。

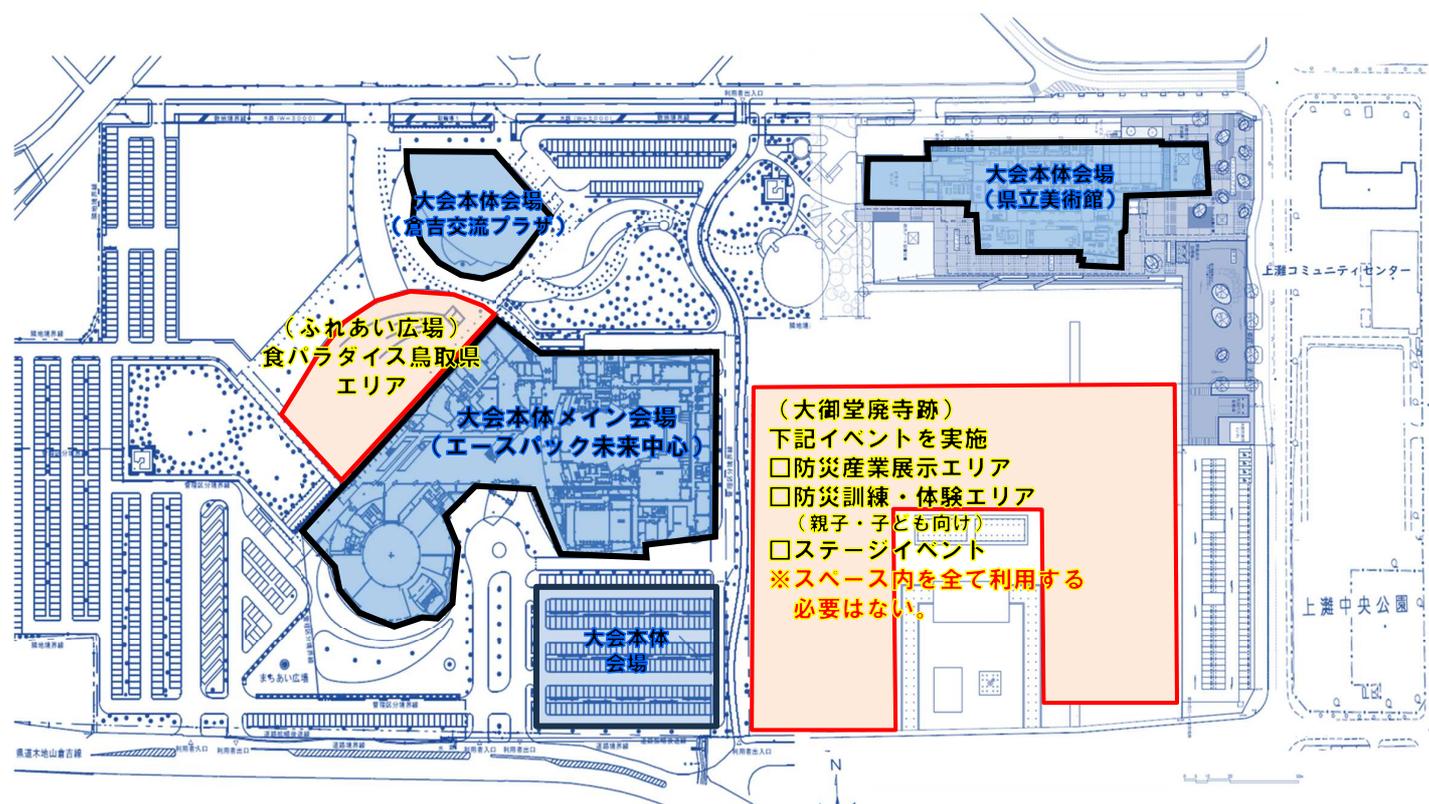
○ 11回目を迎える2026年のぼうさいこくたいは、「共に考え・備え・守る ～「支え愛」で守る命と暮らし～」をテーマとして、鳥取県中部地震やこのたびの地震等の様々な災害での鳥取県の経験や教訓と、全国から集まっていた方々の知恵や知識を織り交ぜ、鳥取の地から発信していくことにより、オールジャパンで防災や減災について考える機会になればと考えています。そして、この「ぼうさいこくたい」を通じて、人と人との結びつきや多様な主体の連携・協働がより強固なものとなり、我が国全体の防災力の向上につながっていくことを願っています。

8

イベント全体図(案)

| 会場／イベント名(想定) | イベント内容 | 主管団体 | 開催日 | |
|--|------------------|--|--------------|--------------|
| | | | 10/17 (土) | 10/18 (日) |
| ◎エースバック未来中心 ◎鳥取県立美術館 ◎倉吉交流プラザ ◎大御堂廃寺跡(北側) ◎第1駐車場 | セッション | 防災について学ぶ | ● | ● |
| | ワークショップ | 防災について体験できる (来場者参加型のワークショップタイプ) | ● | ● |
| | ブース展示 | 防災について知る (出展者がブースで来場者に説明するタイプ) | ● | ● |
| | パネル展示 | 防災について見る (会場でパネルを前面に出して説明を行うタイプ) | ● | ● |
| | 屋外展示 | 車両展示や屋外テントでの出展 | ● | ● |
| ◎ふれあい広場 | 食パラダイス鳥取県 エリア | 防災をテーマとした食(炊き出し、非常食等) 県内グルメ、やきとりJAPANレガシー出展、特産品販売 等 | ● | ● |
| ◎大御堂廃寺跡 | 防災産業展示エリア | 防災をテーマに本県にゆかりのある県内外の優れた技術や製品 等を展示 等 | ● | ● |
| | 防災訓練・体験エリア | 親子・子ども等、幅広い世代が楽しめる防災訓練・体験イベント | ● | ● |

大会主会場周辺ゾーニング予定

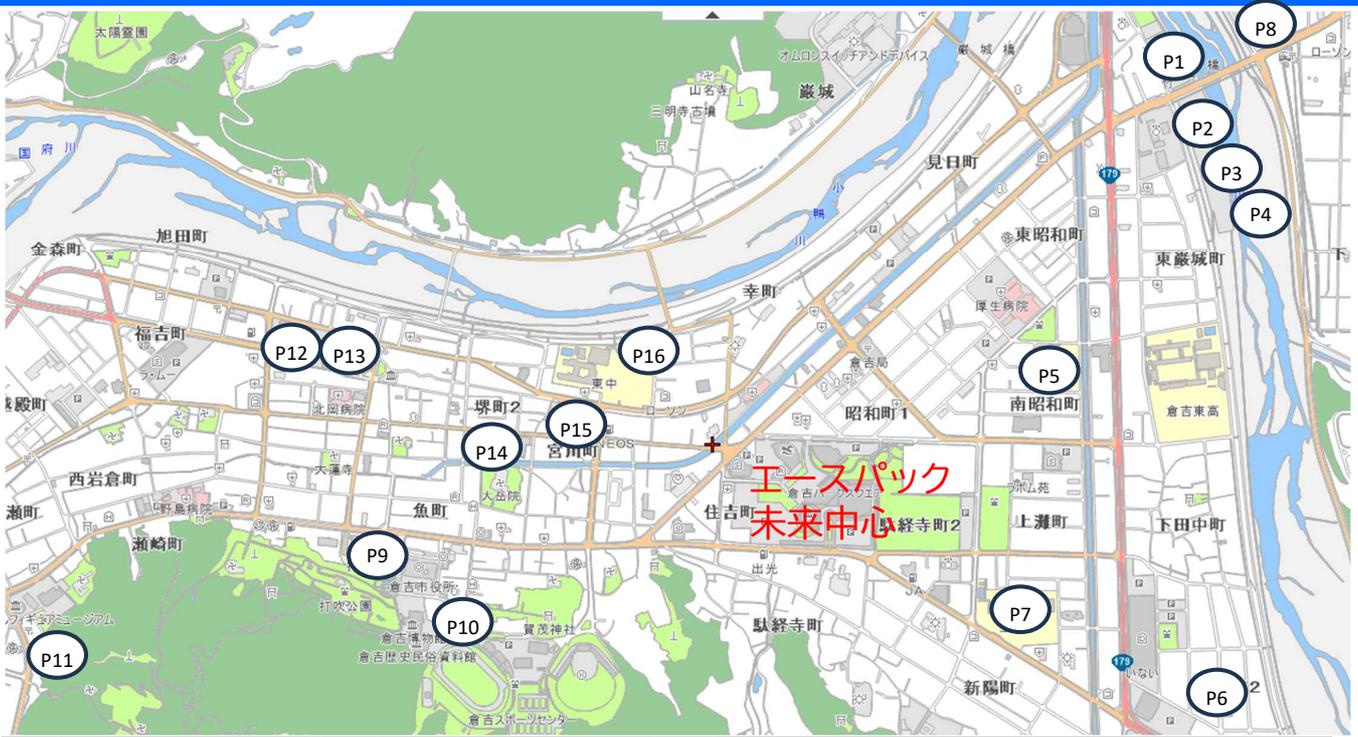


◆ぼうさいこくたい(国実行委員会主催)エリア

◆併催イベント(県主催)エリア

※国実行委員会エリアは今後変更になる可能性あり

駐車場計画



| | | | | | | | |
|----|---------------------|----|---------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------|
| P1 | 天神川河川敷駐車場 :約500台 | P5 | 鳥取県立倉吉総合看護専門学校:約70台 | P9 | 倉吉市役所第1駐車場 :約50台 | P13 | 明治町観光駐車場 :約14台 |
| P2 | 中部総合事務所① :約100台 | P6 | 鳥取県保健事業団 :約30台 | P10 | 倉吉市役所第2駐車場 :約200台 | P14 | 倉吉市役所第2庁舎 :約40台 |
| P3 | 中部総合事務所② :約20台 | P7 | 倉吉市立上灘小学校 :約50台 | P11 | 鍛冶町観光駐車場 :約50台 | P15 | 宮川町観光駐車場 :49台 |
| P4 | 中部建設会館 :約50台 | P8 | 倉吉市水道局 :約10台 | P12 | 緑の彫刻プロムナード公園駐車場 :約45台 | P16 | 倉吉東中北側駐車場 :約50台 |